

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	山下義朗様松室中溝町プロジェクト 新築工事	階数	地上4F
建設地	京都府京都市西京区松室中溝町34番1	構造	S造
用途地域	第一種低層住居専用地域、第一種住居地域、法第22条地域	平均居住人員	75 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 0.0	評価の実施日	2019年12月1日
敷地面積	1,670.65 m <sup>2</sup>	作成者	山上
建築面積	803.36 m <sup>2</sup>	確認日	2018年11月22日
延床面積	2,149.45 m <sup>2</sup>	確認者	高月

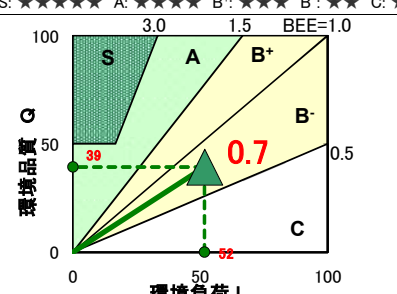


図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★☆☆☆☆

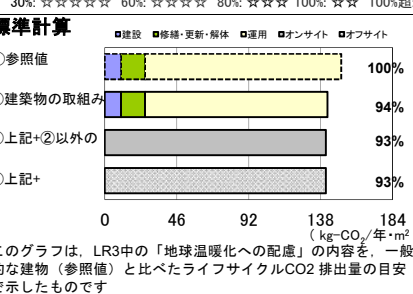
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

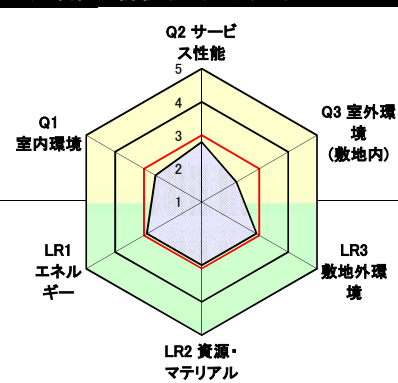
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

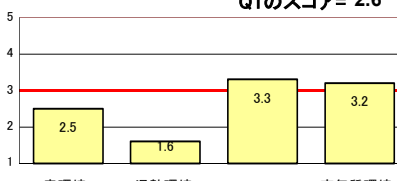


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

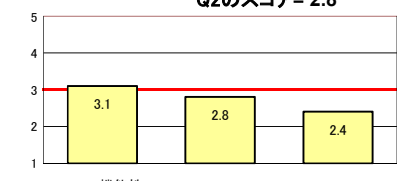
#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6



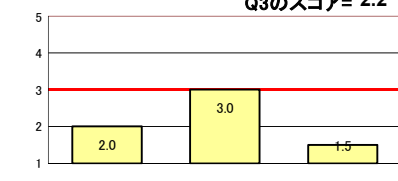
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8



#### Q3 室外環境(敷地内)

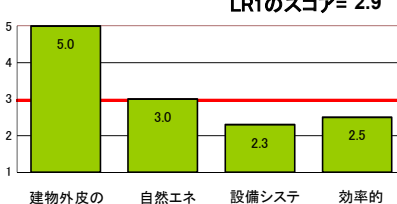
Q3のスコア= 2.2



**LR のスコア = 2.9**

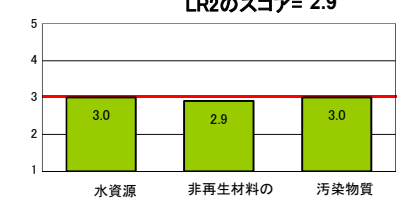
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9



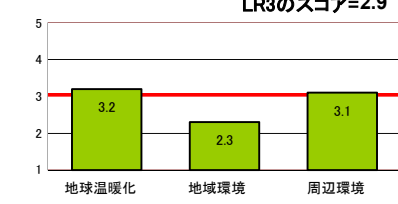
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9



3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 利用者・職員にとって良好な住まい、また周辺環境に調和するような建物を目指して計画しました。		
<b>Q1 室内環境</b> 屋光率の確保、仕上材F☆☆☆☆の採用を行い良好な室内環境となるように努めました。	<b>Q2 サービス性能</b> 各個室について19.305㎡(CL、WC、PS含む)を確保、十分な広さを確保し良好な室内環境となるように努めました。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 使いやすく、維持管理もしやすい建物となるように努めました。
<b>LR1 エネルギー</b> 省エネ設計結果BEI=0.93とし、熱負荷に対する外皮性能の向上に努め省エネルギーに配慮した計画としました。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマの採用、なるべく再生可能資材の利用に努めました。	<b>LR3 敷地外環境</b> 環境配慮に関する条例基準に適合するように努めました。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される